

2012-06-27

一般報道機関向コメント

＜福島大事故＞を起こした大企業の封建的株主総会 東京での TEPCO 責任者への＜弾劾＞賞授与

東京 2012 年 6 月 27 日： 数千人に及ぶ株主の列が東京電力株主総会の会場へ向かった。あの福島原発大惨事の責任を負うべき企業の... そして、その列の中には勝俣恒久同社会長、清水正孝前社長、西沢俊夫現社長、及び同社主要株主に国際エテコンブラックプラネット賞 2011 を授与すべくドイツから来たエテコン倫理 & 経済基金の株主達の姿もあった。それに対し東電は会場入口前に徹底して予防線を張り、会場内に＜弾劾＞賞が持ち込まれる事を防ごうとした。しかし、ひしめく日本の報道陣を前に、この東電の作戦は功を奏し得なかった。そして、ついにエテコンの代表者達は大挙する保安員の中を入場する事に成功した。ここに至り、会社側は最後の手段を行使した：報道陣を封建的とも言えるような権威主義的な形で締め出し、エテコンの代表者達には会場内でマイクで話す機会を与えなかった。その結果、＜賞＞は会場前のカメラとマイクに向かったの象徴的な授与となった。こうして、恥ずべき責任者や主要株主は、人類史上、最大といえる原発大事故の犯罪責任をエテコンによって糾弾される事から免れ得なかった。

エテコン倫理 & 経済基金に集まってくる eMail は 2009 年から 2011 年に限っても何千通にも及ぶ。そして、2011 年 3 月の福島原発大事故の後、2006 年より毎年授与されている国際エテコンブラックプラネット賞の今回の受賞企業として、世界中の人々や団体から日本の東京電力が提案され、同社の 3 人の最高経営責任者及び主要株主がその受賞者として指名され、2011 年 8 月には最終決定し、翌 9 月 1 日公表されるに至った。ここにおいて、国際エテコンブラックプラネット賞 2011 は日本電力会社 TEPCO の最高経営責任者達及び主要株主に授与される事となった。その理由を要約すれば、＜東電の決定と業務に責任を負うものは、勝俣恒久会長、清水正孝前社長、西沢俊夫現社長及び主要株主だからである＞。福島の人類史上最悪の大災害、幾世代に及ぶ無数の人々の健康と重大な環境破壊そして夥しい人数の死者はすべて彼らの責任に帰する。彼らの存在こそは、実に、人権や平和だけでなく、民主主義、自然環境そしてついに人類全体を危険に晒すものである。彼らはずねに自分達の個人的な権力欲、利権、金銭欲から行動し、その為には、人道も倫理も踏みにじり、地球を＜黒く汚して＞崩壊させる事も厭わない。エテコンは、彼らの行動の中に私達の＜緑の地球＞を崩壊させ、廃墟にしてしまう恐るべき破壊活動の一部を見出します。この倫理の蹂躪と人間軽視に対し、エテコン倫理 & 経済基金は、2011 年 11 月 19 日ベルリン市において 200 名の参列者のもとに公開の場で授与した国際エテコンブラックプラネット賞 2011 をもって、東電の責任者達及び主要株主を糾弾します。

そして 2012 年 6 月 24 日、＜弾劾＞トロフィー（青少年によって製作された黒い地球儀）が日本の土を踏んだ。それから株主総会に至るまでの 3 日間、この＜賞＞は、日本国内を数百キロに渡って駆け巡り、日本の協力者たる仲間達とのイベントや会合に臨んだ。それと共に＜賞＞の存在はその報道価値を日増しに高めていき、反原発市民団体 NAZEN、＜福島のおんなたち＞、労組 Doro-Chiba、東京の経済産業省前の抗議テント

村さらに新橋アクションを始めとする数多くの日本の協力組織が積極的に支援を惜しまず日本でのエテコンの行動に参加した。そして水曜朝までにはエテコンによる糾弾活動は日本における総ての主要な印刷メディアの知るところとなった。

糾弾の対象となった責任者や主要株主はエテコン代表者とブラックプラネット賞を6月27日の総会から遠ざけるため、あらゆる手段に打って出ました。まず、総会開催日の何ヶ月も前から開催日時を教えず、それがわかってしまうと、今度は、エテコンの株の所有を否定して来ました - まさに<真っ赤な嘘>をついてきたのです。そして東電はついに最後の段階で保安部隊を動員する行動に出たのです。しかし、デモを遂行する150人前後に及ぶ人達はそれに屈することなく、横断幕を掲げ、ピラを配りました。数百のカメラの無言の圧力、協力を惜しまぬ株主の支持は東電の戦略を狂わせ、ついに株主であるエテコン代表者の入場を可能にしました。

そして、東電は最後の手段を行使するに至りました。即ち、彼らは、まさに封建君主を思わせる傲慢さで会場の場からメディアの締め出しにかかりました。送信用モニター画面は消え、音もカットされました。会場では、議長が思い通りに有無を言わず、議事を進行させていきます。意見のある株主はまるで学校の生徒さながらに手を挙げさせられ、東電の会長は壇上から会場の株主の頭上を見下ろし、自らの選択で手を挙げている株主を選び、その者にだけ発言権を与えるという具合です。それにより、発言を求める何十人もの人達はマイクから遠ざけられ、その中にエテコンの代表者も入っていたのです。

しかし、結局のところ、エテコンブラックプラネット賞2011の受賞者たる責任者たちは、エテコンがその直後<弾劾>賞を数多くのカメラやマイクに向かって会場の前で象徴的に授与する事を押しとどめられなかったのです。

<弾劾>トロフィーはこの地にとどまり、エテコンの代表者達は明日そして明後日も東京でデモに臨み、勝俣恒久会長、清水正孝前社長、西沢俊夫現社長及び主要株主を糾弾し、<弾劾>賞の授与をもって以下の項目を公開の場で重ねて要求します：

- 東電の最高経営責任者達及びその背後にいる主要株主は、相応な処罰を受ける事。
- 全被害は東電及び同主要株主全体の資産によって贖われる事。
- 日本国中およびその他の国々の休止中の原発は再稼動しない事。
- 世界中の原子力発電所の廃止。
- 総ての原子力兵器の破壊破棄。
- 福島原発事故現場地域は<人類の負の遺産>として国連により指名される事。
- 放射能汚染に晒されながら生活を強いられている地域全体の何百万人に及ぶ人々を即刻圏外に避難させる事。
- 原発企業や関連する官僚、政治家、科学者及び報道機関の偽りや隠蔽行為を即刻中止させる。

国際ブラックプラネット賞2011の授与についての詳しい解説は、web上 www.ethecon.org のダウンロードエリア、TEPCO 責任者に関する(関連ファイル) [Dossier](#) の中にあります。また、短くまとめたものは、ドイツ語版、英語版、スペイン語版 及び日本語版による(公開状) [Offenen Brief](#) の中にあります。その中でエテコンはこの電力大手企業の主要株主及び決定権をもつ上層部の法的責任の追及を要求しています。まさにこの人達の利益追求最優先の誤った決断さえなければ、このよ

うな破局的な大事故にはならなかったのです。

エテコン基金は、特にベルリンにおいて毎年の行事として行っている国際エテコンブルー及びブラックプラネット賞の授与によって有名です。エテコンの過去におけるポジティブ賞の受賞者は、Diane Wilson/USA (2006), Vandana Shiva/India (2007), José Abreu 及び Hugo Chávez/Venezuela (2008), Uri Avnery/Israel (2009), Elias Bierdel/Austria(2010), Angela Davis/USA (2011). また弾劾に値するネガティブ賞の受賞者は、以下の企業（コンツェルン）の所有者、株主及び経営管理責任者全員です。即ち、Monsanto/USA(2006), Nestlé/Switzerland (2007), Blackwater (Xe)/USA (2008), Formosa Plastics Group/Taiwan (2009), BP/Great Britain (2010) 並びに東京電力/日本(2011).

エテコンは企業、ファミリー - 、教会、政党並びに国家による基金とは対照的に、一般層からなる数少ない法人組織であり、現在 30 の基金提供者と共に、その中心となる理念として、未来へ続く世代の為の、略奪や弾圧の無い世界の実現を責務と考えています。このまだ新しい基金は、寄付金や支援金、支援団体並びに会員によって運営されています。

お問合せ窓口：

Bettina Schneider (ベッティ - ナ シュナイダ -)

Fon (電話) : +49 - (0)211 - 22 95 09 21

Mobil (携帯) : 0178 - 60 95 699

eMail: bs@ethecon.org

ethecon

Stiftung Ethik & Ökonomie

エテコン

倫理 & 経済基金

Vorstand (代表部)

Schweidnitzer Str. 41

D-40231 Düsseldorf

Deutschland

Fon (電話) +49 - (0)211 - 26 11 210

eMail aks@ethecon.org

Internet www.ethecon.org

Büro (事務所)

Ahrenshooper Str. 73

D-13051 Berlin

Deutschland

Fon +49 - (0)30 - 22 32 51 45

eMail info@ethecon.org

Internet www.ethecon.org

人間社会と自然環境を脅かす破局的な大災害を回避する唯一の道は、環境に配慮し、人を大切にする社会・経済構造モデルの開発と実現です。エテコン倫理&経済基金は遥か先の世代にまで及ぶビジョンと視点をもって活動しています。

支援金口座：

EthikBank

Konto30 45 536

BLZ 830 944 95

BIC GENODEF1ETK

IBAN DE 58 830 944 95 000 30 45 536